

令和3年1月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和3年1月5日（火） 午前8時35分から午前10時50分まで
- ◇会 場 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・この年末年始、新型コロナウイルス感染症対応のため、市保健所では小林所長をはじめ、延べ110人もの職員が出勤し、業務に当たった。このことに、まず感謝申し上げます。
- ・手洗いの励行やマスク着用などの効果で、他の感染症患者が激減し、昨年1月から10月までの日本の死亡者数は、初めて前年を下回った。今のところ、危惧されていたインフルエンザとの同時流行もなく、インフルエンザの患者数は前年と比べて極めて低い水準となっている。
- ・一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済の停滞により、失業や収入減などで、生活困窮に追い込まれる人が急増している。また自殺者数は、このところ減少してきたが、増加に転じるおそれがある。今、申し上げたいことは、一人一人が予防対策をしっかりと行い、普通の生活を取り戻していただきたいということである。
- ・昨年は、大きな影響を受けた事業者への支援、消費喚起のための「推し店プラチナチケット」、「ビックプレミアム商品券」など、切れ目なく実施してきたが、今年も第3弾の支援を考えたいと思う。
- ・何をすることも、ゼロリスクというものはない。皆が力を合わせて冷静に判断し、新型コロナウイルスを恐れず、侮らず、十分な対策をとって新しい生活様式に移行していく必要がある。これまで本市では、市主催のイベント、行事は、十分な対策をとって原則開催するとして進めてきたが、今後も本市の経済、社会、文化の回復のため、ウィズコロナを前提にリーダーシップを発揮していきたい。
- ・一昨年の台風災害からの復旧・復興では、いまだ仮設住宅、みなし仮設住宅で483世帯1,166人もの皆さんが、不自由な生活を余儀なくされている。災害公営住宅の建設をはじめとして、地域の再生に積極的に取り組むとともに、被災された皆さんが1日も早く落ち着いた生活を取り戻すことができるよう、一人一人に寄り添って対応していきたい。
- ・今年は、長野マラソン、戸隠神社式年大祭、更には東京オリンピック・パラリンピックの開催と、一つ一つ着実に実行してまちの賑わいを創出し、来年の善光寺御開帳に向けた機運を醸成していきたい。そして、ネバーギブアップの精神で市民一丸となり、この難局を乗り越え復興を遂げることができることを確信している。
- ・市長2期目の任期も残すところ10か月余りとなった。本市の課題解決に向け、スピード感を持ち攻めの姿勢で先手、先手を打って全力で邁進していく。職員には、この一年、健康には十分留意して、心身ともに元気で職務に励んでいただきたい。今年が市民の皆さんにとっても、職員にとっても、良い年になることを祈念申し上げます。

1 協議事項

（1）公共施設の長寿命化推進について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

○質疑

〔財政部長〕本市の公共施設は、学校と市営住宅が大半を占めているので、それらを含めて公共施設マネジメント推進課が長寿命化の進捗管理や事業費の管理を行うべきだと思う。また、予防保全と事後保全は表裏一体なので、多額の費用を要する事後保全については、長寿命化枠の中で実施することを検討していただきたい。

オリンピック施設などは、改修の事業費が億単位でかかっているのので、これを公共施設マネジメント推進課の事前協議だけで決めてしまうのは問題があると考えます。長寿命化予算の確保により事後保全の予算が減額となるので、予算の付かない工事が出てくる。それではまずいので、予防保全と事後保全を合わせ重点事業の中で優先順位を決めるようにすべきと考えます。

〔総務部長〕ご指摘の点については、検討したい。財政部も含め一緒に考えていくことだと思うので、協力をお願いしたい。

〔副市長〕今後、高度成長期に建設した建物の老朽化が課題となる。非木造の建物の修繕には多額の費用がかかるので、今までと考え方を変えていかないと、どうにもならないと感じている。財政的に厳しい状況なので、不要な資産は売却し基金へ積み立てるなど、修繕のための財源を増やす認識を持ってほしい。

〔公有財産活用局長〕未利用財産の活用については、現在ガイドラインを作成中である。

〔財政部長〕繰り返しとなるが、先ほど指摘した2点について、是非とも実施していただきたい。

〔公有財産活用局長〕6月までに年次計画を取りまとめる中で、国の政策的な補助等の見込みも勘案し、所管課と相談して進めていきたい。また、事前協議については、判断に迷う部分もあるので、内容の見直しを行いたいと考えている。財政部にも相談しながら検討したい。

〔財政部長〕部局のシーリングの中で実施すると、事後保全の予算は付かないと思われる。そのため、多額の費用が必要な工事はシーリングの枠外で対応した方がよいのではないかと。

〔総務部長〕金額をどの程度にするかは別として、事後保全も一緒に組上に載せていく方向で考えたい。

〔副市長〕本市はオリンピック施設を同時期に建設したため、同じような時期に老朽化への対応が必要になる。この点を戦略的に考えないといけない。本市だけで修繕費をまかなうのはおそらく難しいが、この議論は避けては通れない。国の力を借りることも必要になる。既存のスキーム以外の部分で支援してもらわないと厳しいので、今後、しっかりと打ち合わせて進めていきたい。

〔総務部長〕基本的には、説明した流れで進めてよいか決定いただきたい。細かな部分については、財政課や企画課とも協議しながら進めていくということをお願いしたい。

〔副市長〕示された流れ自体は問題ない。

○今後の方向性

細かな部分は、今後協議を重ねながら進めることで原案を了承

（２）次世代型防災備蓄ターミナル整備について（企画政策部）

標記事項について、復興局長から説明し、協議を行った。

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（３）令和２年度１月専決補正予算について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料２参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（４）放課後子ども総合プラン事業の見直しについて（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明し、協議を行った。（資料３参照）

○質疑

〔副市長〕組織の話について、新法人を立ち上げる件は指定管理制度に馴染むのか。半分直営、半分指定管理のよ

うに思えるが、そこは切り分けないといけない。

〔こども未来部長〕切り分ける方向で考えている。

〔財政部長〕コストの見通しなどは、どのように考えているか。

〔こども政策課長〕コストとしては、30分延長のための人件費が1施設当たり約40万円必要になる見込みなので、実施する施設数により全体のコストが決まってくる。

〔保健所長〕市民から見たときに、新法人の設立により事業がどのように変わるのかが、はっきりと分からない。

その説明をしっかりと行った方がよいと思う。また、法人組織の中に福祉分野の人が入っていないように見受けられるが、発達障害などサポートが必要な子どもも利用していると思うので、そういった分野の人を入れるべきではないか。

〔こども未来部長〕市民に分かりやすい表記については検討する。また、新法人の構成員については、大学との連携の中で福祉分野の人に入ってもらい、支援が必要な子どもへの対応を考えていく。

○今後の方向性

原案を了承

（５）信州新町青少年旅行村の廃止について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

○質疑

〔財政部長〕解体時期は、いつ頃を想定しているのか。

〔商工観光部長〕解体時期は、地元との協議がこれからのため現時点では明確に示すことはできない。地元からは施設の一部を譲渡してほしいとの希望も寄せられており、今後、地元との協議を通じて決定していく。

〔財政部長〕令和4年度以降となるのか。

〔西部産業振興事務所長〕令和3年度中に、地権者と譲渡施設の協議や土地の原形復旧の程度などについて協議し、令和4年度中には、解体・撤去の予定である。

〔市長〕これと同じように、使われないまま残っている施設が他にもあるなら、廃止できるものは廃止していったらいい。

○今後の方向性

原案を了承

（６）第二期長野市農業振興アクションプランの策定について（農林部）

標記事項について、農林部長から説明し、協議を行った。（資料5参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（７）私債権である工事契約解除に伴う契約違約金の債権放棄について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。（資料6参照）

○質疑

〔副市長〕債権放棄に至るまでの経過を、詳しく記載すべきである。

○今後の方向性

原案を了承

（８）栗田従前居住者用住宅の活用について（建設部）

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。(資料7参照)

○質疑

〔財政部長〕修繕工事費を精査して、もう少し減額していただきたい。

〔建設部長〕建設から年数が経過しているので、資料中の数字は劣化を見込んで想定した額である。詳細については、今後、詰めていく。

〔副市長〕この住宅は、公営住宅法に基づき建設されたものではないので、修繕等に国の補助は受けられない。そのため、市の負担と家賃収入で運営していかなければならない。そうなると、特別会計で管理していくようにしないと、将来的に厳しくなっていくと思う。この点については、財政部と相談して進めるように。

〔建設部長〕今後、検討する。単年度収支の見込みでは、支出より収入の方が多いため、それを基金に積み立てて修繕に活用していきたいと考えている。

〔上下水道局長〕今後、建物の長寿命化のために多額の費用が必要になることを想定し、基金を積むなどして特別会計の中で必要な費用を全て賄えるような仕組みを考えていただきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(9) 長野市の活力ある学校づくりについて(教育委員会)

標記事項について、教育次長(行政)から説明し、協議を行った。(資料8参照)

○質疑

〔財政部長〕他の学校の状況はどうなっているか。

〔教育次長(行政)〕他の学校でも、それぞれのステップに従い、保護者との対話を進めている。今回の事例が先行事例となり、これを参考にして他の学校でも検討が進んでいくと思う。説明できる段階になったら、お示ししていきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(10) 長野市交流センターのモデル施設の追加について(教育委員会)

標記事項について、教育次長(行政)から説明し、協議を行った。(資料9参照)

○質疑

〔市長〕中条地区が人口増の拠点となれるよう、この施設を十分に活用してほしい。

○今後の方向性

原案を了承

2 その他

(1) マイナンバーカード未取得者に対する国からの勧奨通知について

(地域・市民生活部)

標記事項について、地域・市民生活部長から説明を行った。(資料10参照)

○質疑なし

(2) 「河川防災ステーション」整備計画の申請について(建設部)

標記事項について、建設部長から説明を行った。(資料11参照)

○質疑

〔上下水道事業管理者〕地区への説明は終わったとのことだが、地権者への説明はどうなっているか。

〔建設部長〕本格的に始まるのは、この整備計画が承認されてからの見込みである。

〔上下水道事業管理者〕申請後に、地権者から苦情が寄せられるケースがあるので、その点に留意して進めた方がよいと思う。

〔建設部長〕今後、国と連携して進めていきたい。

以上